

# 大 淵



△丸火自然公園は自然林100ヘクタールの広さ



## 人と自然が調和する 心豊かな住みよいまち 大 淵

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。2月は神戸、3月は広見地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課 ☎51-0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。(1月は新年号発行のため休みます)

大淵地区は、市の北部に位置し、富士市の三分の一以上を占める広大な地区です。地区は、富士山の裾野に広がる自然林や富士ヒノキに代表される人工林で覆われている北部地域と、集落が形成され、茶栽培を中心とする畑作農業が行われている南部地域とからなっています。特に、この地域の茶栽培は大規模で、気候にも恵まれ良質なやぶ北茶を産出しています。

西端の次郎長地区は、狭客清水次郎長が明治八年〜十七年までに七十六町三反歩の畑を開墾した地域として知られています。

近年、大淵地区は、地区を南北に通じる富士裾野線のほか主要道路の整備が進められ、城山、希望ヶ丘、大峯などの民間分譲団地が形成され、新興住宅地としてベッドタウン化し、人口急増地区となっています。丸火自然公園は、自然林百餘を利用した公園で、自然観察の場として市民の憩の場となっています。また、南端の富士総合運動公園は、市民のスポーツの場として整備が進んでいます。



△メンバーの(左から)尾形さん、小山さん、堀口さん、芹沢さん、秋山(ミカ)さん、秋山(春樹)さん

大淵は地区のさまざまな行事の運営に青年団の力を欠かすことができません。赤いジャージに身を包んだはりきりヤング、大淵青春友の会におじやました。

大淵公民館二階の小会議室に入ると、黒い布にモザイクのようなものでつくられた馬が目に入ります。モザイクのようなものは、実はアルミ缶を切ったもの。

この夏、大淵青春友の会(会長 秋山春樹さん)が地域に対して何かしたいと考え、地区のジュニアリーダーとともに、空き缶を拾いながら丸火までのハイキングをしました。題して「We can Can!」。

黒い布の馬は、拾った缶のうちアルミ缶を切りきざみ、ボンドで張ったものなのです。

大淵青春友の会は現在総勢二十一一人。元気印の青年団です。

ユニフォームの赤いジャージは何と言っても目立ちますが、特筆すべきは地域で一目置かれていくこと。冒頭の「We can Can!」を初め、マラソン大会、小学生のタコ上げ大会等、地区を盛り上げるイベントの仕掛け人となっています。

また、隔月に一回、広報ふじより読まれていくといううわさの「根っこ」という新聞を大淵地区に全戸配布しています。

大淵青春友の会は、地域にしっかりと根を張った青年団です。



### 元気印の青年団

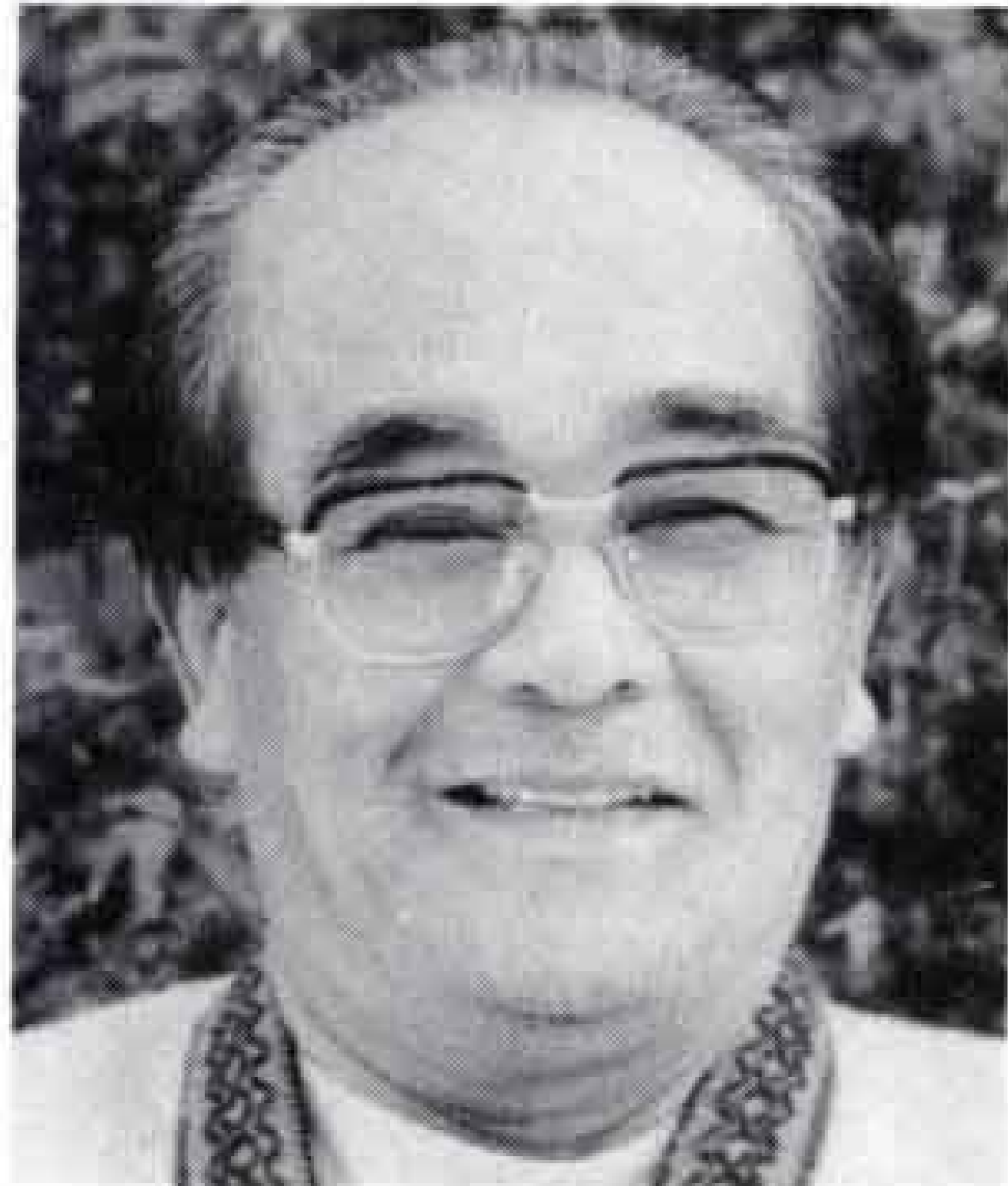
大淵青春友の会の皆さん



# まちか

## 我がまちを語る

### 純朴でまじめ



藤田良男さん  
大淵2丁目(67歳)

昔の大淵は、僻地という言葉がぴったりあてはまるところでした。何といっても水がなく、人々は天水や沢の水などに頼って生活し大変な苦勞をしました。落花生や

サツマイモなどの農業、林業、養蚕が主な産業でした。昭和三十年に吉原市となってから、水道の普及や道路拡張が行われ、徐々に生活も向上してきました。当時は、町の人に対して生活水準の遅れから劣等感を持っていました。それが、自動車の普及もあってどんどん開け、現在のようにになりました。純朴でまじめ、人情味が厚いという大淵の人々の特徴は、昔の名残りと言えるでしょう。将来は広い土地のある大淵に大を誘致してもらい、文教地区として発展してほしいと思います。

## あの人の人こんなこと

### 大淵の豆エジソン



東海林 宏君(城山)

東海林君(大淵小六年)は市の発明工夫展で、二年連続議長賞を受賞しました。作品は、夏休みの二カ月前から考えた「空き缶仕分け器」。磁石を利用して、アルミ缶とスチール缶を分けるものです。東海林君は頼もしいエジソンの卵です。

### 英語の実力派



岩間りささん(八王子本町)

「英語を覚えるのが楽しくてしようがない」と言うのは岩間りささん(大淵中三年)。県東部の英語の暗唱大会で優勝した実力派です。「将来は語学力を生かして発展途上国に行き、人々の役に立ちたい」というのが夢です。



野球ファンでなくても、昭和五十四年夏の富士高甲子園フイーバーは思い出されるもの。坪内監督は、そのフイーバーの二年後から監督となり、こととして六年目。日焼けして引き締まった顔は頼もしく、選手を追う目は厳しさを感じさせます。

監督自身、富士高野球部のOBで、選手時代は捕手で中軸を打ち、主将として活躍しました。

監督就任後は生徒に「練習をやらせるのでなく、自主的に取り組むよう」指導してきました。

また、監督の野球は、いわゆる野球ばかりでなく、いろいろなことを学んでほしい。という哲学があります。この辺が全員野球の秘訣かもしれません。

今回の優勝はもちろんうれしいですが、卒業生でゲームに出れなかった生徒がグラウンドに来てくれるのが一番うれしい。という人情派でもあります。坪内監督、がんばってください。



第39回秋季高校野球東海大会で初優勝した富士高校の監督

坪内一哲さん  
(36歳)

今回の優勝はもちろんうれしいですが、卒業生でゲームに出れなかった生徒がグラウンドに来てくれるのが一番うれしい。という人情派でもあります。坪内監督、がんばってください。

### 美容師一筋四十年



秋山あき子さん(中野二)

終戦後、大淵に初めて美容院を開業したのが秋山さん。以来四十年、大淵の人々の髪を美しくしてきました。十一月二十三日、技能功労者として表彰され、「お客さんをきれいにでき、喜ばれたときは本当にうれしいですよ」と語ってくれました。

### ジュニアバレーで優勝



稲葉清美監督(中野二)

大淵はバレーボールが盛んなことで有名です。中でも光るのがジュニアバレー。十一月に行われた県小学生選抜大会の東部大会ではすべての部門で優勝しました。子供たちを優勝に導いたのは稲葉監督。その熱心さはだれもが認め、子供たちに厚い信頼があります。

